

(9) L2 スイッチのスペック

L2 スイッチのスペックを「表 4-13 広域連合内の L2 スイッチのスペック」に示します。

表 4-13 広域連合内の L2 スイッチのスペック

区分	スペック	備考
ネットワーク インターフェース	10 / 100 / 1000 Base-T×24	
メモリ	256MB	
最大スイッチング容量	48Gbps	
管理機能	Telnet, コンソール, SNMP	
VLAN	Tag-VLAN, プロトコル VLAN, MAC-VLAN	
スパニングツリー	IEEE802.1D/W/S, PVST+, ループガード	

4. 2. 2 広域連合内のハードウェアの台数

広域連合内のハードウェアの台数を「表 4-14 広域連合内のハードウェアの台数」に示します。

表 4-14 広域連合内のハードウェアの台数

機器名称	台数	台数の考え方
連携サーバ	6 or 4 or 2 台	下記の連携サーバ及び AP サーバの台数の考え方を参照。
AP サーバ	6 or 4 or 2 台	
DB サーバ	2 台	クラスタ構成
メールサーバ	1 台	シングル構成
バックアップサーバ	1 台	シングル構成
運用管理サーバ	1 台	シングル構成
ストレージ装置	1 台	シングル構成
LTO 装置	1 台	シングル構成
大量印刷用プリンタ	1 台	—
窓口端末	任意	各広域連合にて、職員、運用管理者の人数に応じて検討。
運用管理端末	任意	
負荷分散装置&SSL アクセラレータ	2 台	ネットワーク機器は二重化。
ファイアウォール1	2 台	ネットワーク機器は二重化。
ファイアウォール2	2 台	ネットワーク機器は二重化。
L3 スイッチ	2 台	ネットワーク機器は二重化。
L2 スイッチ	16 台	ネットワーク機器は二重化。

【連携サーバ及び AP サーバの台数の考え方】

連携サーバ及び AP サーバ 1 台あたりに接続する窓口端末の台数を 50 台とし、接続する窓口端末台数に応じて、連携サーバ及び AP サーバの台数を増やす構成としています。

また、連携サーバ、AP サーバは負荷分散を行うとともにサーバ障害時の縮退運転を考慮し、最小構成を 2 台とします。

上記の考えに基づいて、広域連合の連携サーバおよび AP サーバの台数につ